

世代超えナイスショット

千種高生、地元ゴルフ協会員と交流



穴粟市ゴルフ協会の会員から手ほどきを受ける千種高校の1年生＝穴粟市千種町鷹巣

穴粟のコースで指導を受ける

授業でゴルフを習い始めた千種高校(穴粟市千種町)の1年生が、同市ゴルフ協会の大ベテランから手ほどきを受ける「ジュニアゴルフレッスン」がこのほど、同校近くのゴルフ場「千草カントリークラブ」で行われ、同校の「アクティブ類型」を選択した生徒は2週間に1度のペースでゴルフの授業を受けている。普段はテ

イーチングプロの林良民さん(72)が指導するが、市ゴルフ協会も道員の寄贈や会員訪問などで若手育成に協力している。

会員からショットのこつを習った1年生の西畑海希さん(15)は「言われた通りに打ったら真つすぐ飛んだ。楽しい」と笑顔。生徒と一緒にコースを回った市ゴルフ協会の土居正栄会長(74)は「年の差を超えて楽しめるのがゴルフの魅力。気持ちが若返ります」と話していた。(古根川淳也)